



【ミヤマキリシマ】

■久住山・由布岳登山

ミヤマキリシマ咲く久住山・由布岳へ

- 日 程：6月15日(金・夜乗船)～18日(月・朝下船)
- 参加者：La 藤本 SLa 田中(重) 田中(由) 山本(清)
Lb 赤木 SLb 島谷 田中(美) 乙坂
Lc 木下 SLc 高島 森下 平石

● 行動記録：

- (15日) フェリー神戸港 19:50 発
- (16日) フェリー大分港(7:20 着・レンタカー手続き)ー久住山牧ノ戸登山口(9:35 着)9:45 発～扇ヶ鼻分岐(11:25 着)～久住分れ避難小屋(11:55 着)12:20 発～久住山(13:00 着)13:20 発～牧ノ戸登山口(15:30 着)ー陽光荘(18:00 着・泊)
- (17日) 陽光荘 6:00 発ー由布岳正面登山口(6:45 着)7:00 発～合野越(7:45 着)7:50 発～マタエ(9:15 着)9:20 発～合野越(10:35 着)10:45 発～飯盛ヶ城(11:00 着)11:10 発～由布岳正面登山口(11:45 着)ー別府鉄輪温泉(むし湯)で入浴ーフェリー別府観光港 19:30 発
- (18日) フェリー神戸港(6:45 着・解散)

♣♣再度、久住山と由布岳

田中(美)

【6/16】

大分港に入港。いよいよ1日目の久住山、レンタカー3台に分かれ牧ノ戸峠登山口へ・・・。
ストレッチを終え登山開始。最初はコンクリート道の急な登りが続いていたが、これを過ぎると歩きやすい登山道になり、牧ノ戸峠展望台、扇ヶ鼻分岐、星生山分岐と進みやっと眼下に広大な敷地の中にポツンと1つ久住分かれ避難小屋が見えた。ここで昼食。ここから久住山山頂が見えて沢山の登山者が山頂を目差して登っておられる。

私たちも出発。石のゴロゴロの登山道が頂上まで続く、久住山1786.5mに到着。

昨年の秋は凄惨な暴風雨で山頂に登ったものの立つ事も出来ず下山を余儀なくされた体験をしている。今回は透き通った青空、ミヤマキリシマの群生、硫黄山の噴煙、眼下には久住高原などが望め今までのキツさを吹き飛ばしてくれました。

山頂を後にして下山へ、車に乗り宿泊する陽光荘へ。途中自炊用の食材を調達の為スーパーへ寄る。

地獄蒸し用の地獄釜が11ヶ並んでいて、蒸す温度は98℃と高く、又、塩分を含んでいる為、蒸し上げながら食材の旨みを引き出してくれるそうです。すべて美味しかったです。

【6/17】

陽光荘を予定より1時間早めに出発。由布岳登山口へ、ストレッチを終え出発今日は少し雲が多く怪しいお天気。登山道は比較的歩きやすいと思っていたら、中腹位からゴロ石や浮き石が多くなってきた。合野越、マタエに近づく頃から風が出てきた。マタエは風が強くなるこのまま下山しようと思うとリーダーの言葉、折角ここまで登ってきたのだからマタエまで登ってみる。

合野越から飯盛ヶ城へ、ピラミッドのような美しい山ですが下から上に向かって風が強くなる四つん這いにならないと飛ばされる勢い(背後から励ましの言葉?)頂上の風は以外に弱く、下山も四つん這いで下りる。由布岳登山口で昼食。

下山が早かったので鉄輪(かなわ)温泉のむし湯に行く、敷き詰められた薬草「石菖^{せきしょう}」の上で八分入室、2分経たない内に汗が全身から噴き出てきて2日間の登山の疲れを吹き飛ばしてくれました。効能は疲労回復、筋肉痛に効くそうです。帰船は別府観光港から大阪南港へ向かう予定でしたが臨時便として神戸港行きが出ていたのでこれに乗船。

【6/18】

翌朝神戸港に入港、楽しい久住山～由布岳の山行が出来ました。リーダーの藤本さん、ドライバーの藤本さん、赤木さん、木下さんお疲れ様でした。そして参加者の皆さん有難うございました。

【リーダーからひと言】

久住山由布岳山行に参加された皆さまお疲れさまでした。各自の任務を確実にこなし、事故もなく無事に下山・帰宅できたのが何よりうれしいです。参加者全員に感謝します。帰りの電車の中で発生した大阪北部地震のため電車が停車・線路上を歩いて下車するというハプニングのオマケがありました。少し慌てましたね。帰宅が大幅に遅れた人も何とかその日のうちに無事家まで帰り着くことができてよかったです。



■中山連山(478m)

女性委員会山行

- 日 程：6月17日(日)
- 参加者：La 垣内 SLa 西口 有本 河合 西山(順) 開 矢根
Lb 澤田(律) SLb 尾越 狩集 苦瓜 西山(由) 橋本(万) 廣岡

- 行動記録：阪急清荒神駅(8:41 着)8:50 発～清澄寺(9:10 着)9:32 発～中山奥の院(10:50 着)11:00 発～中山最高峰(11:50 着)12:20 発～展望台(13:00 着)13:02 発～満願寺西山(13:50 着)～最明寺滝分岐(15:10 着)15:20 発～阪急山本駅(15:40 着)

♣♣中山連山

有本



実家が宝塚で、清荒神、最明寺滝には父とよく行っていた事を思い出し、懐かしく思って参加しました。

梅雨の晴れ間、絶好の天気のもと阪急清荒神駅を出発しました。参道が続いていて、朝早かったのか、開店している店はまばらで、横目で見ながら歩きました。清荒神を参拝して、少し戻り登山道から歩き始めました。最初は急な坂道、しばらくすると、ゆるやかな道が続き、木立の中ではあるが、やっぱり暑い、しんどい。

水分補給しながら中山寺奥の院に着きました。最高峰で昼食、暫しの休憩、見晴らしもよく、街がよく見えていました。

満願寺西山を経て最明寺滝へ行く途中、最後の難所、ガレ場、急な岩場で、おそろおそろ慎重にゆっくり足をどこに置いたらいいのか、苦心しながらおりました。後ろから、「キャーこわい。」と声が聞こえてきました。皆無事に、下りて来られてひと安心。

最明寺滝では、マイナスイオンを感じ涼しかった。阪急山本駅に着いたのは、16時前、山行時間、6時間50分と長い時間、休憩を取りながらですが、皆さん、よく頑張りました。お疲れ様でした。リーダーさん始め皆さん、ありがとうございました。



■瑞牆山(みずがきやま)・金峰山(きんぷさん) 奥秩父の百名山2座に登る

- 日 程：6月23日(土)～25日(月)
- 参加者：L尾内 SL上田 笹木 澤田(律) 田羅間 西口 待場 三木(悦) 矢根

● 行動記録：

- (23日) 蕪崎駅(13:33着)13:45発～瑞牆山荘(14:45着)15:00発～富士見平小屋(16:00着)
- (24日) 富士見平小屋4:50発～瑞牆山(7:00着)7:35発～富士見平小屋(9:15着)10:20発～大日小屋(11:15着)11:25発～大日岩(11:55着)12:15発～砂払の頭(13:40着)13:50発～小屋金峰山分岐(14:20着)～金峰山小屋(14:45着)
- (25日) 金峰山小屋5:10発～金峰山(5:40着)6:00発～朝日岳(7:20着)7:30発～大弛峠(8:35着)8:50発～夢の庭園(9:10着)9:20発～大弛峠(9:35着)10:20発～塩山温泉(11:35着)12:30発～塩山駅(12:45着)

♣♣てるてる坊主の願い

笹木

出発前から1番の気かりはやはりお天気のこと。梅雨の真ただ中であまり期待は出来ないけど、やはり山頂ではアルプスの眺望を楽しみたい。

そんな願いを胸に、朝8:02新幹線で姫路駅を出発した。座席を向かい合わせにして皆でおしゃべり、修学旅行みたいな気分。皆の心配事はやはりお天気。そんな中、矢根さんがスマホでgoodな写真を見せてくれた。なんと9つのてるてる坊主が並んでいる。今回の山行に

あたり願いを込めて作ったという。なんて！すごいなあ～(感動！)その気持ちが嬉しい！！一気に皆のテンションが上がる。どうか晴れますように。

名古屋からワイドビューに乗り継いで13:33 蕨に着いた。そこからジャンボタクシーで瑞牆山荘へ。

街中を走っている間は空も明るく光もあったけれど、行く手の山にはモヤがかかっている、山荘に着いた時には雨になっていた。軒下を借りて、カップとスパッツを付けて富士見平小屋まで登って行く。雨の中を1時間歩いて予定通り16:00に小屋に着いた。

カップを吊るして荷物を整理して程なく夕食の時間。ランプの光の下で、名物の自家製ウインナー(鹿肉とイノシシ肉100%らしい)、手作りソースも茗荷のソテーもとっても美味しくお腹いっぱい戴いた。

夕食が済んだ頃より外が明るくなり、明日の準備に近場にある名水を汲みに出かけた。小屋の中は真ん中にランプが1つあるだけで薄暗かったが、丁度私の寝場所の上に唯一の窓があり、寝転ぶと嬉しいことにその窓から月が見えた。あ～した天気にな～れ。



♣♣瑞牆山山行に参加して

澤田(律)

日本100名山の68番目の金峰山・69番目の瑞牆山山行に参加した。まず、名前の難しさに閉口した。漢字で書く事ができない。この感想文を書くにあたってやっと書けたところだ。

瑞牆山の瑞牆とは神社の廻りに巡らす垣根のことを指すらしい。金峰山と共に山岳宗教の山として修験者たちに登られてきたようだ。2山とも奇岩がそそりたっていて、何とも見慣れない風景だった。また、2山の縦走路には大日岩・五丈岩など大きな岩が立ち並び恐ろしい。歩いている最中に地震がきたら、とても助からないだろう等話しながら歩いた。また、瑞牆山から金峰山への縦走路の岩陰にはイワカガミの花が最盛期で、私たちの疲れを癒してくれた。さらにアズマシャクヤクの木がたくさんあったが、残念ながら見頃を過ぎていたようで、数輪の花が見られただけだった。珍しいミヤマハンショウヅルの花も見ることができた。

瑞牆山や金峰山からの展望は八ヶ岳、中央アルプス、南アルプス等大パノラマが展開しており楽しむことができた。また、当日は心地よい気温や風に助けられ歩き続けることができたと思う。

瑞牆山や金峰山への登山者は多かったが、縦走路では数人と出合っただけだった。厳しい登山道が敬遠されているのかもしれない。全員が安全に歩き通せて何よりだった。



♣♣奥秩父の名峰 金峰山へ

待場

東アルプス、山梨県の山行は初めてで瑞牆山・金峰山は憧れでした。

梅雨時でお天気が気になっていましたが、この日も晴天に恵まれ金峰山の小屋をスタートしました。山梨県側では「きんぷさん」、長野県側では「きんぼうさん」と呼ぶそうです。

沢山の可愛いイワカガミの花に元気付けられ山頂に到着しました。山頂には金桜神社の本宮が祀られており、金峰山を象徴する大岩、五丈岩も鎮座しています。

富士山、南アルプス、北アルプス、中央アルプスの山々が見渡せ幸せ気分になりました。

360度の展望に恵まれている素晴らしい山でした。

朝日岳に向かう途中、鉄山辺りは風も心地良く樹林帯の中を歩いていると緑の苔がとても美しかった。朝日岳に向かい山頂からも素晴らしい展望が満喫できた。

やっぱり日本一の山「富士山」を眺めると1度は登りたい山の1つですね。

大弛峠(おおたるみとうげ)からの登山者も多かったです。無事に大弛峠に予定よりも随分早く着き大弛峠小屋を通り「夢の庭園」を散策することに300mと階段ばかり、展望デッキからは歩いてきた山々と五丈岩などアルプスが見渡すことができました。シャクナゲも今年は早く咲いたようで楽しむことはできませんでしたが此処は本当に「夢の庭園」でした。

大弛峠からはタクシーで「フルーツライン」葡萄、桃畑を通り甲州塩山温泉で汗を流し昼食の「ざるそば」とスモモはさっぱりしてとても美味しくいただきました。

後で本当に楽しかったと思える山行が出来た事とても嬉しく思っています。

リーダー、サブリーダー、皆さんお世話になり有難うございました。



■神戸森林植物園 女性委員会山行 初夏の「花あじさい」を楽しむ

- 日 程：7月1日(日)
- 参加者：L澤田(律) SL尾越 小田 貝塚(陽) 橋本(万) 藤原(千) 待場 松浦 矢根
- 行動記録：新神戸駅 8:55 発～市ヶ原(10:10 着)10:20 発～地藏谷出合い(10:30 着)12:20 発～植物園東口(12:15 着)13:10 発～植物園西口(13:35 着)14:00 発～学習の森(14:00 着)14:50 発～大竜寺(15:05 着)15:40 発～諏訪神社(16:35 着)16:30 発～JR元町駅(16:50 着)

♣♣あじさいの森林植物園

矢根



先日の宿泊山行の疲れがやっと取れて、今回の山行は大丈夫かと不安の中、新神戸駅に集合。少し登った広場でもう汗だくです。そこで、ストレッチをして出発。

いいお天気で今日も暑くなりそうです。

布引貯水池、市ヶ原、誰かがカッパが出そうな池やなあと言った後、河童橋と書いてあったのにはびっくりでした。

何回か六甲山には来ていますが、こん

なに水量が多いのは初めてです。水の多さと、ときどき吹くすずしい風に助けられて、やっと森林植物園の東門が見えましたが、そこからの道の長く感じた事。料金所で入園料を払い、受付の方から今日がいちばんきれいですよとの嬉しい言葉を受け、休憩場所を決め、さあ今日のお楽しみの山ごはんの時間です。

サラダを作る班、私はきのこグラタンを作る班です。それから、フランスパンを各自切り、グラタンを入れてみんなで美味しくいただきました。

食後のコーヒー、とても、おいしゅうございました。お昼ごはん休憩も終わり、あじさいを見ながら西門から洞川湖、大竜寺、諏訪神社でストレッチをして元町駅まで下りて解散。

暑い中、6時間の山行、みなさまありがとうございました。



■六甲ロックガーデン(学習会セカンドトレーニング)

- 日 程：7月1日(日)
- 参加者：L 和田 SL 福田 木村 木畑 黒本 高島 廣岡 安田
- 行動記録：阪急芦屋川公園 9:25 発～講座の滝(9:45 着)9:50 発～風吹き岩(11:30 着)11:45 発～雨が峠(12:55 着)13:10 発～東お多福山(13:30 着)13:45 発～土樋割峠(14:00 着)～東お多福山バス停(14:40 着)

♣♣六甲・ロックガーデンから一軒茶屋

安田

今年は梅雨明けが早い。今日は快晴である、でも湿気が高く蒸し暑い日である。

待ち合わせの阪急芦屋川駅に着くと凄い登山者で一杯…。皆、列をなして六甲山に登るのである。登山口までの住宅の方は諦めているのかな～？ワイワイ、がやがや、家の評価をされたり…。自分の家だったらどうだろうと思った。

「学習会セカンド」のメンバーと「初めての山歩き」隊と同じコースを今日は登るが、チーム別で、我々「学習会セカンド」隊が先に歩く。高座の滝に入ると、やっと涼しい。やはり日差しがきつく蒸し暑い。しかし、ロックガーデンは、きつかった。途中で「初めての山歩き」隊に抜かされる。ムムム！！負けられんぞ～！と思ったが、今日の天気である、無理をせずゆっくり進んで行く。途中でKさんがこむら返りを起こし、みんなで寄って、たかって介抱する。

風吹き岩で早めの昼食にする。ここで皆と相談し、東お多福山を過ぎたら、土樋割峠まで行って下山ルートに行くことを決める。かなりゆっくりのスピードで進んで来たが、東お多福山の広場で体操をしているグループがある。「あれ～？あれは先に行った新人山歩き隊のグループ」。

かなり我々は遅れていると思っていたのに、あまり時間的には変わらなかったようであった。皆で凄く安心したというか、ホッとしたのである。リーダーが話をすると、全員山頂へ行くようなので我々チームの2名はそちらに参加し、山頂を目指すこととなる。

残りの6人で下山することになった。下山途中で、また一人、こむら返りになる。今日は暑



かったし脱水の危険もあった。それでも、なんとかバス停まで下山出来た。

自動販売機のジュースを希望に必至で降りて来たので体操をすることを全員が忘れていた。私とその事に気が付いたのはあくる日の朝だった…。皆さん、お疲れ様！

■六甲ロックガーデン(山歩き教室サポート)

- 参加者：教室生10名

La 山本(正) 森本 田中(重) 土井 藤原(浩)

Lb 砂川(延) 尾内 乙坂 兼澤 河合 島谷

- 行動記録：阪急芦屋川駅 9:00 集合～同駅北の公園 9:15 着(9:30 発)～高座の滝 10:00 通過～風吹き岩(11:00 着)11:10 発～雨が峠(12:25 着・昼食)12:40 発～東お多福山 12:50 通過～土樋割峠 13:20 通過～一軒茶屋(14:40 着)15:00 発～石の宝殿 15:15 通過～土樋割峠(16:00 着)～バス停(16:30 着)16:35 発～阪急芦屋川駅(17:00 頃着)

◆◆六甲・ロックガーデンから一軒茶屋に参加して

藤原(浩)

梅雨の中休みと見られるような天候、台風の影響もあるかと思われる日にあつて、最高の天候にめぐまれた中、恒例の実技山行が実施され参加しました。

私は昨年に続き2度目の参加でした。まず今日の山行グループの多いのに驚きました。

公園でストレッチ後、皆元気一杯で出発しました。20分程で高座の滝に着きましたが、強い陽射しが照りつけ、汗が噴出すなど先が思いやられるスタートでした。しかし、滝の清流に接し、皆一息ついた心持ちで再出発できました。

赤ちゃんを背負った若夫婦、幼児を連れた親子、笛やハーモニカを楽しむ人等、山行の多様な雰囲気にも触れました。



雨ヶ峠を過ぎてからアザミやササユリにも出会えました。特に花期が過ぎていたからササユリはあきらめていただけに感動しました。一軒茶屋に近づくにつれ、独特の匂いのする白い栗の花に出くわしました。石宝殿から下る山道沿いにも見られました。又この道は、強い陽射しを受けた樹林からのこもれ日と、時々寄せる涼風で心が癒される山の魅力を感じさせてくれたコースでした。参加者全員が無事目的を達する事ができ意義ある1日になりました。

企画された世話役の方々、参加された皆様方ご苦労様でした。有難うございました。



■朝日連峰縦走 花見湯山の旅Ⅲ

- 日 程：7月1日(日)～5日(木)
- 参加者：L 佐々木 SL 大谷 上田 瀧原 田羅間 松下 村上

- 行動記録：

(1日) 泡滝ダム登山口 14:30 発～冷水沢(15:55 着)～大鳥小屋 18:20(着)

(2日) 大鳥小屋 6:10 発～三角峰の水場(8:55 着)9:10 発～オツボ峰(10:00 着)10:10 発～以東岳(11:40 着)～以東小屋(11:45 着)13:15 発～以東岳(13:25 着)～中先峰(15:10 着)～狐穴小屋(16:05 着)

- (3日) 狐穴小屋 6:10 発～寒江山(7:40 着)7:50 発～竜門山(10:20 着)10:30 発～西朝日岳(12:00 着)12:25 発～大朝日小屋(15:15 着)15:30 発～大朝日岳(15:45 着)15:55 発～大朝日小屋 16:05
- (4日) 大朝日小屋 6:30 発～(着)発～小朝日岳まき道分岐(8:30 着)発～(着)発～分岐(8:40 着)8:50 発～(着)発～古寺山(9:30 着)9:40 発～(着)発～ハナヌキ峠分岐(10:45 着)発～(着)発～一服清水 11:00

♣♣朝日連峰縦走(7/1～2)

田羅間

7月1日(日) 東京～新潟とJRを乗り継ぎ鶴岡に着き、タクシーで泡滝ダム登山口に向かう。途中までは快適な旅。だが道は林道よりも細く、舗装もなくなり、車は右に左にゆれる。対向車が来たらどうするの？谷に落ちないかと心配する。

登山口からは最初のうちは快適に川沿いに登って行く。そのうち行けども行けどもたどりつかず、疲労と暑さで汗だくになり約4時間やっとのことで大鳥小屋に着く。夕食は車内で購入した弁当で済ます。小屋は貸切で広々と使える好きな場所で眠ることができた。



7月2日(月) 朝食を済ませ、予定より早く小屋を出発。天気は快晴。池に映る逆さの山々(雪渓と新緑)心弾む最高の景色。ところが、歩き始めると急激な登り、暑さも加わってしんどかった。

ただヒメサユリという初めて見る可憐な花に癒される。シャクナゲ、色違いのサラサドウダン、チングルマ、ウスユキソウ、シオガマ、ハクサンイチゲその他名も知らぬ花々に励まされ歩く。

鳩時計かとまがうカッコウのこえも。

以東小屋へは見えるのになかなかたどり着かず、やっとのことで着くと、あるはずの水場が雪の下でまだ使えないと！皆そのつもりで持ち水がわずか。仕方なく雪を掘ってガスで溶かす。

水の大切さ、有難さを知る。その後アップダウンを繰り返し、ヨレヨレになりつつやっとのことで狐穴小屋に着く。小屋はまたまた貸切。しかもトイレは驚くなけれ水洗。水はあふれ、顔と足を洗いさっぱりする。

♣♣花見遊山の旅を終えて

松下

7月3日(火) 夜明けと共に起床、ゆったりと休めた貸切別荘のような狐穴小屋は温かく快適でした。今朝の山ご飯メニューはトマト風味のマカロニとコーヒーでした。好評で女性陣がおかわりしていた。昨日の長丁場の疲れかな・・・予定のサラダはカットだった。昼食用に昨夜の蛸飯の残りを分配して、出発準備にかかります。

早くパッキングできた人が手際よく小屋の清掃をしてくださる。外に出て、元気いっぱいの朝陽を浴びてのストレッチ後、次の水場(竜門小屋)までの水を汲んで出発します。今日のコースは稜線上のアップダウンを繰り返しながら大朝日岳をめざしてすすみます。風は涼しかったが虫避けネットを被り大きなザックを背負った柔な身体には、1ピッチ30分が歩き易かった。

登山道わきにはヒナウスユキソウの大群落が広がっていて、ハイマツやタカネザクラ、ミネカエデに混じってサラサドウダンやハクサンシャクナゲがピンクの可憐な花をつけています。

鶯が美しい声で鳴いています。ここでは森林限界が1400m前後とかで、1500m～2000m足らずの標高でも北アルプスの稜線を歩いているようです。

3時間ほど歩いて水場のある竜門小屋に到着、ここで大休止です。小屋の100円トイレも借ります。ここで大朝日小屋の水場が開通していないという事前情報から、各人がリーダーの指示した共同用の水と個人用の水を汲んで竜門山～西朝日岳～中岳～大朝日小屋と担いで行くつもりで出発しました。

しかしここから先の方が長く、大切な水でありますはずっと堪えます。朝日小屋下の金玉水の取水の可否をリーダーが竜門山下の分岐から現地観光課へ再度問い合わせてみると、事前情報から数日経過していたこともあり、現在は取水可との新たな情報をキャッチできました。ここで、ボッカ水の解除！ほんの一登りのボッカでしたが助かった！西朝日岳から中岳へ向かう道ではヒメサユリも多く、ヨツバシオガマ、ハクサンチドリ、ハクサンイチゲ、ミヤマキンポウゲ、ウサギギク、イワハゼなど・・・足元にはシロバナノヘビイチゴが赤い小さな実をつけていました。小休止した雪溪の処では、シラネアオイやショウジョウバカマも咲いていました。中岳下のV字谷雪溪は鋭く切れ落ちていて、トラバースするのに一足毎に慎重に足を置いて進みました。中岳を下るとカール状になっていて、冷たくて美味しい金玉水があります。お花畑も広がっていて、アオノツガザクラ、イワカガミ、マイヅルソウ、コバイケイソウ、ニッコウキスゲ・・・。明朝予定の水場銀玉水までの水を汲んで、大朝日小屋までの一登りをがんばると、イワギキョウが出迎えてくれました。

ここでも管理人さんは不在でしたが、山形の救助隊長という人が泊まっておられて色々説明してくださいました。今日の好天の内に大朝日岳へ皆で登頂して、南に飯豊連峰、北に月山と鳥海山、東に蔵王連峰と360°のパノラマを堪能しました。小屋へ戻ってストレッチをした後、感謝をこめて鐘をつかせてもらいました。いつまでも眺めていたい辿ってきた道、残雪豊富な険しいV字谷を有する山並みでした。小屋は今宵も貸切で快適です。3日目の夕飯はOシェフのちらし寿司と吸い物、Sシェフのサキイカ即席漬けでした。どちらもこだわりの調味料で美味この上なしです。今日は曇量も多く夜には雨雲がやってきて、明日の天気心配だなと思いつつ、皆さん早めにシュラフインしました。ソーラーランタンが夜半すぎまで照らしてくれた。



【ヒナウスユキソウ】



7月4日(水) 今朝は雨粒混じりのガスに包まれて真っ白・・・やっぱりカップ下山かな・・・。朝からお寿司を食べて、30分ほど時間を調整してカップ着用で下山開始です。予定ルートは小朝日岳から鳥原山でしたが、雨模様の天候のため小朝日岳手前の熊越から巻道へ入り、小寺山を通過してハナヌキ分れから小寺鉱泉へ向かうルートへ変更しました。さしあたって目指すは朝日連峰きっての名水銀玉水です。ほんのり甘味のある軟水でとても美味しかった。雨は相変わらず降ったり止んだり・・・。ヒメサユリ群落や野イチゴの実を楽しみながら尾根筋を下って行き、いつしかカップも要らなくなって、三沢清水、一服清水と休みながら小寺鉱泉へたどり着きま

した。メの山ご飯は棒ラーメン(乾燥野菜入り)とS家特製パンです。ビールで乾杯して、またまた貸切になった宿の温泉へ入ってさっぱりしました。ここの宿は山菜とイワナ(朝食はサクラムス)のお料理です。久しぶりの長い山旅で不安材料がたくさんありましたが、天候とすばらしいメンバーに支えられて初めての楽しい東北の山旅を無事に終えることができました。

天候の不安があったこと、ゆっくり歩行であることからエスケープルートの検討ができなかったかなどか思いましたが、サバイバル風味の大変な計画と準備をしてくださったSリーダー、ご一緒してくださったパーティーの皆さまに感謝します。



報告：砂川 延也

【参加者名簿】

7月12日(木) 山電東二見 ～高砂市役所	7月13日(金) 高砂市役所 ～姫路城前公園	7月14日(土) 山電飾磨駅北 ～たつの市役所	7月15日(日) JR本竜野駅前 ～赤穂市役所	7月16日(月・祝) 赤穂市役所 ～JR寒河駅東
大谷 和代	小田 昌代	上田 利昭	高御位例会で参加中止	砂川 延也
砂川 延也	澤田 律子	兼澤 新也		須増 勇
徳本 明巳	砂川 延也	砂川 延也		三木 悦子
森本 勲	砂川 美那子	須増 勇		
	藤原 千恵子	和田 文夫		

今年も高御位山遊会は例年通り山電東二見駅から、最終日、岡山労山に引き継ぐまで歩く予定でしたが、予定していた7月8日の定期総会と高御位例会が大雨による避難指示のため中止、15日に急遽、高御位例会を入れたため15日の平和行進は参加できませんでした。

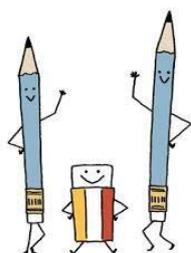
川西市役所前で7月7日(土)昼に大阪労山から引き継いだようですが、大雨のために午後の行進は中止になっています。行進が中止になるのは、この平和行進が始まって以来だそうです。

私たちが山電東二見駅で引き継いだ後、寒河駅で岡山労山に引き継ぐまでの毎日は35度を超す気温の中の行進となりました。路上を歩くので体感温度は40度近い中を行進する毎日でした。行進団も、この暑さの中途切れることも度々で、厳しい気象条件の中で行進は頭の下がる思いでした。

通し行進の方々が広島へ無事に到着できることを祈るばかりです。

高森ボランティア活動報告

報告者：藤原(千)



- ◆ 日 程：7月14日(土)
- ◆ 場 所：高御位山長尾ルート上部
- ◆ 参 加 者：内海 澤田(律) 荘所 高島 藤原(千) 待場 村上

長尾ルート上部の分岐から上方へ移動しながら、良く伸びて登山道に覆いかぶさっている雑草を刈りました。猛暑で少し動くだけで汗が流れ、約1時間作業するのが精一杯でした。

熱中症に気をつけながら半分ほど仕上げました。10時30分頃終了。